

環境パフォーマンスの改善

排出抑制のため、徹底した自己管理を

環境モニタリング

富士フィルムは環境への排出を抑制するため、法規制値より厳しい基準値を設け、徹底した自主管理を行っています。富士フィルムは、排水の水質、地下水の水質、ボイラー排ガスの成分のモニタリングを実施し、汚染のないことを確認しています。そして、更なる環境モニタリングを強化するため環境省の指針に加えて、使用履歴のない化学物質についても土壌詳細調査を実施しています。

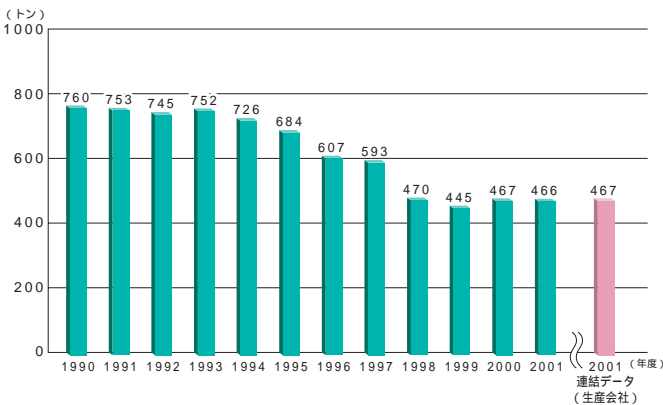
また、PRTR法の届け出対象物質を使用している工場周辺での、該当化学物質の大気濃度のモニタリングも実施しています。

大気排出の削減のための工場の取り組み

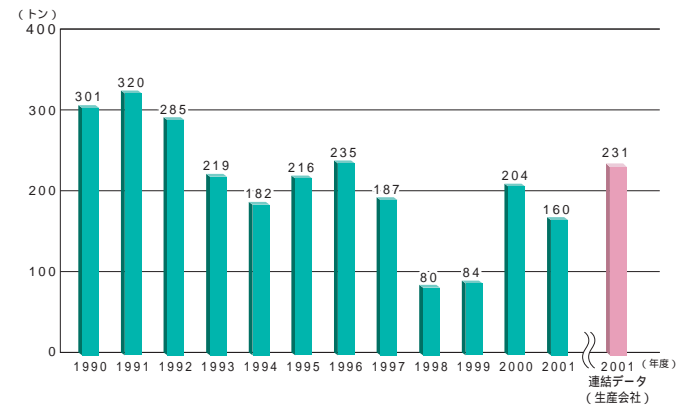
富士フィルムの各事業所では大気汚染に対して、様々な取り組みを実施し、成果を挙げています。最近の主な取り組みと、今後の計画は次のようなものです。

- 1995年度 小田原工場にてボイラー燃料をA重油から特A重油へ転換。SOx排出量を削減。
足柄工場で、ばいじん対策として、煙突への高捕集効率式集塵機を設置。
- 1998年度 富士宮工場で排煙脱流装置に湿式電気集塵機を設置。SOx排出量を削減。
- 2000年度 小田原工場で廃溶剤焼却炉を廃止。SOx排出量を削減。
- 2002年度 富士宮工場でCO₂、SOx排出削減のため都市ガス導入予定。
- 2003年度 小田原工場でCO₂、SOx排出削減のため都市ガス導入予定。
- 2004年度 足柄工場でCO₂、SOx排出削減のため都市ガス導入予定。

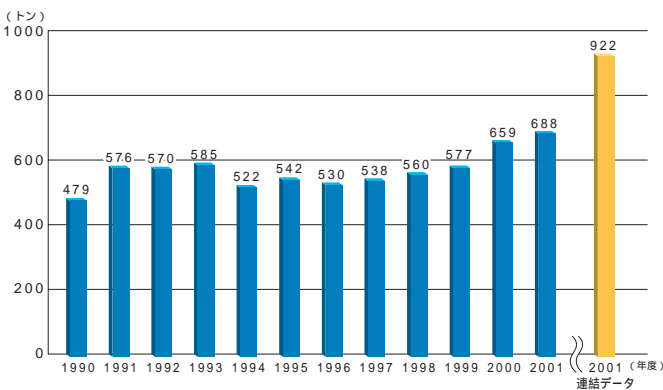
SOx排出量の推移（富士フィルム国内6事業所のデータ）



COD排出量の推移（富士フィルム国内6事業所のデータ）



NOx排出量の推移（富士フィルム国内6事業所のデータ）



ばいじん排出量の推移（富士フィルム国内6事業所のデータ）

